

第23回「チーム新・湯治」セミナー

日本三古泉から学ぶ温泉文化 の承継と温泉地の未来

チーム 新・湯治 

【趣旨】

先般、我が国の「温泉文化」は、ユネスコ無形文化遺産への登録の提案が決定され、今後国内外からの注目が一層高まり、温泉地の活性化につながることが期待されています。その中でも、有馬温泉、道後温泉、白浜温泉は日本三古泉と呼ばれ、千年以上もの歴史を有し、日本を代表する温泉地です。

温泉地を取り巻く環境は時代とともに大きく変化している中、時代のニーズをとらえ、その変化に対応しつつ、温泉地としての固有の文化を守り、長い時間を生き抜いてきた日本三古泉の歩みから学ぶことは、今後の温泉地活性化へのヒントを探る上で重要なものです。

今回のセミナーでは、日本三古泉を切り口に、温泉地が大切に守っていくべきものは何か、そしてこれからどのような未来を描いていけるのかを、参加者の皆さまと一緒に考えます。

【プログラム】

13:00～ 1. 開会

13:10～ 2. チーム員からの活動報告

13:25～ 3. 【事例発表1】有馬温泉の過去、現在、未来・・・

一般社団法人有馬温泉観光協会 会長 金井啓修氏

【事例発表2】道後温泉が描く未来予想図

～歴史・文化の『学び直し』から始まる新たな価値創造～

道後温泉旅館協同組合 理事長 帽子大輔氏

14:25～ 休憩

【事例発表3】白浜温泉の成り立ちとこれからのまちづくりについて

白浜町観光課 主任 滝本斉氏

15:05～ 4. 講師を交えた参加者との意見交換・質疑応答

15:30 5. 閉会

【配布資料】

1. プログラム ※本資料

2. 第23回「チーム新・湯治」セミナー参加者一覧

3. チーム員からの活動報告資料（2件）

4. 講演資料（3件）※【事例発表1】については、講演概要のみ配布

5. アンケート用紙

6. チーム員一覧（令和8年7月1日現在）

講師プロフィール

金井 啓修（かない ひろのぶ）氏 [一般社団法人有馬温泉観光協会 会長]

日本で一番歴史のある有馬温泉。その中でも一番歴史のある温泉宿 御所坊の十五代目主人。

1955年生まれ

1978年有馬に戻り、以後40余年間、有馬温泉の地域づくりに関わる。

その間、国土交通省の「観光カリスマ100選」に認定される。

2026年現在、有馬温泉観光協会の会長を務める。

趣味はゴム動力飛行機づくりとラガー・ビア。

休日は4人の孫守りに追われている。

帽子 大輔（ぼうし だいすけ）氏 [道後温泉旅館協同組合 理事長]

1977年 松山市出身

1999年3月 高野山大学仏教学部卒業

（株）シティーカンパニー勤務

2003年7月 （有）川吉別荘＝現・山の手リゾート（株）入社

愛媛県議会議員（松山市・上浮穴郡区・3期）

2025年5月19日 道後温泉旅館協同組合理事長就任

団体歴

公益財団法人日本青年会議所四国地区協議会会長

松山市青少年市民会議会長

公益財団法人松山観光コンベンション協会副会長（現職）

県中小企業団体中央会副会長（現職）

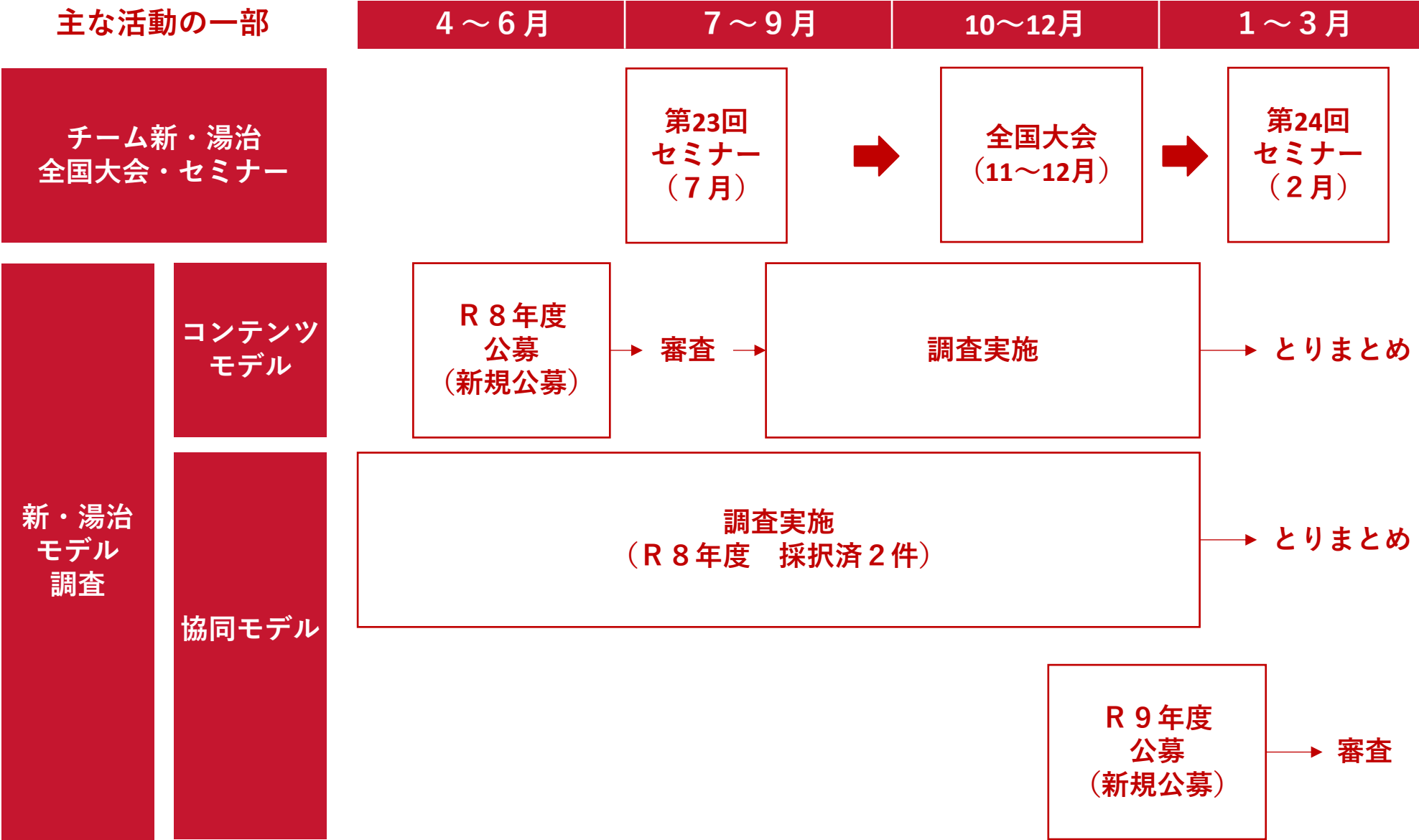
滝本 斉（たきもと ひとし）氏 [白浜町観光課 主任]

2010年4月 白浜町役場入庁

2024年4月 白浜町観光課主任

「南紀白浜トリアスロン大会」や「南紀白浜花火フェスタ」などの観光イベントの企画運営に携わる。

白浜町の観光プロモーションを担っており、観光誘客のために日々活動中。



※メールマガジンは月1回程度発行、ニュースレターは今後、年度内に4回発行予定